



































チャレンジ項目記入数

16

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、社内ポータルサイトで周知している。また、常時閲覧可能とし会社のあるべき姿を従業員に共有している。 ・経営目標を社内文書で周知すると共に、職場内会議等で説明している。 ・従業員は自らの使命を理解し、やりがいを感じている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守に関する方針や規定、マニュアルを策定している。 ・定期的な内部監査、コンプライアンスに関する研修及び朝礼時等で不祥事例を周知している。 ・法令遵守の浸透のため、各自「コンプライアンス・カード」を携帯している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為の禁止を含むマニュアルを整備し、明文化している。 ・公正な競争を促進する観点から取引先などから贈答を受けないことを周知するとともに、年2回、贈答受領対応実績を集約している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・各部門ごとに担当者、責任者を任命し、事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握する体制を整備している。 ・社会・環境に影響を及ぼす事例が発生した場合の連絡体制(危機管理責任者・環境責任者の設置)及び方法を規定に定めている。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除について、規程・マニュアルを設けている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護について規定・マニュアルを策定し、情報漏洩事故に対する具体的な対応策を策定している。 ・個人情報に関する研修を従業員に対して実施している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・定期的なアンケートの実施など、顧客の声(特に苦情)を大事にし、双方向コミュニケーションに取り組んでいる。 ・取引先訪問時のご意見を当社事業に反映するため、社内ポータルサイトに「キツキの広場」を設けている。 (日常の業務遂行の中で、お客さま等からいただいたご意見を吸い上げ業務改善を行う仕組み)															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・BCPを策定し、年に1回の大規模非常災害訓練を実施している。 ・非常災害発生時の対応体制や手順を規定に定めている。										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・業務遂行に必要な技術・技能の習得を目的とした、研修や知識・技能向上への取組みを実施している。									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・職場において、差別や人権侵害しないことを就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全に関する教育や安全取組の表彰等により、安全文化醸成活動を推進している。 ・職場管理職や産業保健スタッフによるメンタルヘルスクアを実施している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金ガイドラインに沿った体制を整備し、従業員(正社員・パートタイマー等)に公正な待遇による雇用を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・労働時間の管理徹底や、フレックス、時間単位休暇取得、テレワーク等、柔軟な勤務制度・環境の整備を実施している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・従業員の成長をサポートする仕組みを構築している。 ・研修体制の整備や自己啓発支援などにより、従業員へ教育の機会を提供している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生法に基づくストレスチェックや健康診断を実施している。 ・健康経営優良法人(経済産業省)の認定を受けている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性の活躍推進に取り組み、「えるぼし」(厚生労働省)の認定を受けている。 ・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビ会議等を導入している。		●	・リモートワークや時差出勤などの柔軟な働き方を推進する勤務制度の整備を行っている。			3						8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・ICTを活用したマネジメントとマーケティングの実現に向け、業務改革に取り組んでいる。(オンライン会議等によるペーパーレス化、業務におけるRPA活用の検討など) ・DXの取り組みを推進するための組織を設置している。 ・全従業員を対象に「DXの基礎」研修を実施している。									8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12					

チャレンジ項目記入数

16

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・「環境管理責任者」「環境担当者」を定め、廃棄物処理法に基づき分別し、管理、処分を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力や燃料の使用量を毎月把握し、目標を立てて削減に取り組んでいる。 ・近接階への階段使用、室温の適正管理(夏:28℃、冬:19℃を目安)、夏季の軽装、エコドライブの徹底、社有車のEVへの置き換え等に取り組んでいる。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出している。 ・事業活動温暖化対策計画書制度に基づく計画書を提出している。 ・近接階への階段使用、室温の適正管理(夏:28℃、冬:19℃を目安)、夏季の軽装、エコドライブの徹底、社有車のEVへの置き換え等に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・CO2や廃棄物の排出量削減および社有林の適正管理、地域の皆さまと一体となった環境保全活動の実施など、サプライチェーン全体を通じ、多岐にわたる環境活動の中で生物多様性に配慮した取り組みを展開している。						6.6							14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・廃棄物の分別およびリサイクルの徹底による資源の効率的な利用に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・建屋に雨水処理水再利用システムを設置している。 ・オフィスの節水に努め、水使用量の削減に取り組んでいる。 ・「公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金」が水源涵養を目的として行っている水田湛水事業に参加している		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境にやさしい製品等の調達を図ることを定めた「グリーン調達制度」を導入し、グリーン調達を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・フードドライブ活動を推進している。	1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・植栽や植樹などの緑化活動を実施(参加)している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・再生可能エネルギーの積極的な開発を行っている。 ・社屋に太陽光発電システムを設置している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・植樹活動に積極的に参加している。 (金峰・有明記念植樹、下刈り)						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・植樹活動に積極的に参加している。 (金峰・有明記念植樹、下刈り)						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・社有車のEVへの置き換えを進めている。									9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・「九電グループカーボンニュートラルビジョン2050」を策定し、2050年におけるカーボンニュートラルの実現に挑戦することを宣言している。 ・エネルギー需給両面から電源の低・脱炭素化や電化の推進に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:九州電力株式会社 熊本支店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数16

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・お客さまの声を事業運営に反映するため、社内ポータルサイトに「キツキの広場」を設けている。 (日常の業務遂行の中で、お客さま等からいただいたご意見を吸い上げ業務改善を行う仕組み)			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事業所にスロープや多目的トイレ、身体障がい者用駐車場を設けている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・スポーツ大会への支援や清掃活動の実施などの地域共生活動に積極的に取り組んでいる。 ・自治体と協定を締結し、地域見守り活動や不法投棄パトロールに取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・災害時の迅速な復旧対応に向け、関係機関との連携強化や大規模災害に備えた訓練等を実施(参加)している。 ・災害時の被災地域支援に向けた他企業との協定締結などを行っている。 ・防災備蓄や防災グッズを常備している。				4						11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・災害時の迅速な復旧対応に向け、関係機関との連携強化や大規模災害に備えた訓練等を実施(参加)している。 ・災害時の被災地域支援に向けた他企業との協定締結などを行っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・防災対策に貢献する無停電電源装置、蓄電池、完全自己処理型水洗トイレ、スポットバズーカ(スポットエアコン)等、九電グループ商品の販売促進を行っている。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・従業員に対し、SDGsバッジを配布し意識付けを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生や大学生などのインターンシップを、受け入れている。 ・学校等と連携し、出前授業などを行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の生徒、学生を積極的に雇用している。 ・熊本県内で実施されるリクナビ・マイナビの合同企業説明会に積極的に参加している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

3